



《医療機能》 全手術件数

<項目解説>

急性期病院として多くの手術を安全・確実に遂行することは重要な課題です。外科医、麻酔科医、看護師 手術室等のリソース（人的資源）は有限ですが、限られたスタッフと場所で効率的な運用をし、いかに手術件数を確保できるかが重要です。手術スタッフ、設備、手術時間等の効率的な運用を総合的に判断する指標です。

<当院の実績>

【平成24年度】	1, 605件
【平成25年度】	1, 486件
【平成26年度】	1, 780件

<当院の自己点検評価>

大変厳しい医師体制の環境におかれておりますが、今後も引続き、患者さまにとって最も適した手術を提供することを原則としつつ、より高度な手術を必要とする患者さまに対応できるよう、医師一人一人が更なる研鑽を積んでいきます。

<定義>

K920(輸血)以外の手術(※Kコードに限る)の件数。

手術室以外で行われた、内視鏡的手術・心臓カテーテル治療等も含まれます。ただし複数術野の手術等、一手術で複数のKコードを持つ場合も合わせて1件とします。算出に際しては、各病院で管理実態が異なるため手術台帳等ではなく、診療報酬算定件数を用います。

※Kコード：診療報酬点数表の診療行為のうち、手術・処置の領域に割り当てられたコード。
1桁目をKとしているためKコードと呼ばれる。

<算式>

実数